

令和４年度 事業報告

(自) 令和４年４月１日 (至) 令和５年３月３１日

1. 新規・重点事業

(1) 地域課題の解決力強化の推進

○ 住民福祉活動の拠点支援の強化

ボランティアの交流や世代間交流、生きがづくりなどに活用できる常設型の屋外拠点を試験的に整備しました。併せて、住民主体の地域福祉活動の常設拠点への家賃補助を行いました。

・常設拠点 みんなの農園（毎週水曜日の活動 ※7～9月は毎週水・土曜日）

63回活動（メンバー 20名）

体験の場の提供（地域親子教室、障害児家族会等）

計8回（延べ112名の参加）

農園会議 11回開催

・家賃補助 3団体 720,000円

○ ボランティアによる移動支援

移送ボランティアによる地域拠点（生活支援体制整備事業による拠点）や買い物などの外出支援などのために本会車両を活用した福祉運行を行いました。

・131回運行（延べ573名利用）

○ 引きこもり者への居場所支援

引きこもりがちな人への居場所と役割の創出支援を行いました。

・43回開催（延べ83名の参加）

○ CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員を含む職員12名をCSWとして兼務にて配置しました。

(2) 生活支援体制整備事業の推進

○ 第2層の運営及び更なる推進のための支援

社協支部10のエリアにおいて、立ち上がった第2層協議体や拠点の継続、支え合いの仕組みを創出するための支援、活動の拡大を住民と共に行いました。

第2層協議体：7か所

- ・入間川茶べり場
- ・おたがいさま♡ふじみ
- ・いりそ支え合いたち
- ・奥富地区支え合いネットワーク会議
- ・柏原「きのえね坂の家」
- ・まちの縁側推進プロジェクト水富
- ・みま～も狭山台

※ 感染症対策を講じながら、居場所の提供、有償の生活支援サービス、買い物支援等を行う協議体がありました。

○ 小地域福祉活動の人材育成

「ちょこっと見守りサポーター」の登録を増やし、地域のニーズに合った人材養成講座や市民フォーラムや講演会を開催し、生活支援の担い手とリーダーを養成しました。また、次世代を担う高校生の活動を支援しました。

- ・ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 13名
- ・高校生Yumeプロジェクト
《開催回数》全体会 6回、プロジェクトごと 計59回
《参加者数》延べ138名

○ 第1層協議体の運営

第1層協議体の運営を行い、第1層分科会等を活用した支え合いを生み出す仕組みを整備しました。

- ・第1層協議体定例会 6回開催
- ・地域福祉フォーラム 1回開催
《日 程》11月16日(水)
《会 場》オンライン
《内 容》「こんなこと聞いていいのかなぁ…医療の話し」
《参加者数》39名

- 小地域福祉に係る社会資源の把握と開発

コロナ禍における住民主体の活動状況の把握と支援を行いました。地域ケア会議や市の評価会議において情報共有とコロナ禍の地域課題を分析し、その対応に取り組みました。

「地域資源管理サービスサイト」のデータベースを公開し、各地域包括支援センター及び居宅介護支援事業者と、地域の住民主体の社会資源についての最新情報を共有し、活用しました。

 - ・社会資源一覧 新規作成なし
 - ・A y a m u サービス情報数 350件

- 生活支援コーディネーターニュースの発行 2回発行（10,000部）

- (3) CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）活動
 - CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員を含む職員12名をCSWとして兼務にて配置し、出張相談を含めて360件の相談に対応しました。

 - 出張相談会の開催 58回開催（相談件数 55件）

老人福祉センター3館において、「福祉何でも相談会」を各館月1回開催しました。また、老人福祉センター以外でも相談に対応しました。

水富地区をモデル地区として、水富公民館と広瀬公民館との共催で「暮らしの談話室」（屋外型サロン・出張相談会）を開催しました。

 - ・福祉何でも相談会（老人福祉センター） 35回開催（延べ27件）
 - ・暮らしの談話室（水富地区） 23回開催（延べ28件）

 - 部門間連携会議

内部連携によりCSWとしてのスキルアップを図るため、情報共有やケース検討を中心とした部門間連携会議を設置し、課題解決力の向上を図りました。

 - ・9回開催（延べ135名参加）

(4) コロナ禍及びコロナ後の生活困窮者への相談支援の実施

○ 生活福祉資金（特例貸付）等の実施

埼玉県社会福祉協議会から受託している生活福祉資金について、コロナ禍で収入減少のあった世帯へ生活費の貸付を行いました。【令和4年9月まで】

貸付決定件数及び貸付決定金額（総計）

366件 129,550,000円

【内訳】・特例緊急小口資金

185件 35,700,000円

・特例総合支援資金

181件 93,850,000円

○ 生活福祉資金（特例貸付）等の借受人への相談支援

埼玉県社会福祉協議会から受託している生活福祉資金（特例貸付）について、コロナ禍で収入減少のあった世帯に対して免除申請を中心に相談支援を行いました。償還開始後の返済困難者へは猶予申請の案内をしました。

・職権免除（自己破産、本人死亡等による免除） 38件 13,650,000円

・判定免除（免除申請に基づく免除） 1,033件 358,805,000円

○ 住居確保給付金の受付

狭山市から受託をしている生活困窮者自立支援事業について、コロナ禍で収入減少のあった世帯への家賃支援と就労支援を行う住居確保給付金の受付を行いました。

支給決定件数 127件

○ 生理用品の配布「クローバープロジェクト」

様々な事情により、生理用品を入手することができない等の悩みを抱えている方を支援するため、窓口等において生理用品の配布を行いました。

《配布数》 66セット

○ 新型コロナウイルス感染症ワクチンの予約代行

新型コロナウイルス感染症ワクチンのWEB予約が困難な方を対象に、窓口で予約代行を行いました。

《受付件数》 社会福祉会館 312件

宝荘 170件

寿荘 249件

不老荘 290件

○ フードバンク等支援事業

食糧支援を行うフードバンク、フードパントリーへ助成金を交付しました。

・5団体 710,000円

○ 埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンへの参加

埼玉県庁の呼びかけに応え、管理施設2か所でフードドライブを実施しました。

《期 間》10月～11月

《会 場》社会福社会館、狭山市駅東口事務所

《提供重量》317.4kg

○ 食の応援プロジェクト、つながり支援

・食の応援プロジェクト

生活困窮者自立支援事業の相談の中で、年末の支援が必要な生活困窮世帯やひとり親世帯に対する食料支援を行いました。

《配付数》50世帯

・つながり支援（年賀状送付）

生活困窮者自立支援事業の相談が途切れている方や孤立しがちな方へ、年賀状を送付し、つながりを絶やさないようにしました。

《送付数》64名

(5) 狭山市地域福祉活動計画の推進

令和3年度からの5か年計画である第4期狭山市地域福祉活動計画に基づき、地域福祉活動推進会議を設置するほか、地域福祉活動計画での基本目標を総合的に後押しするための4つの「さやまプロジェクト」を実現するためのプロジェクトチームをつくるなど、地域福祉の推進に努めました。

・地域福祉活動推進会議 4回開催

・さやまプロジェクト プロジェクトチームの編成

さやまプロジェクト1 打ち合わせ1回

テーマ：「つながり」のバリエーションを増やそう～「つながり」づくりの推進～

さやまプロジェクト2 打ち合わせ1回

テーマ：みんなの居場所を増やそう～「ホッ」とする場所をつくる～

さやまプロジェクト3 打ち合わせ1回

テーマ：新たな「ふくし」人材と知り合おう～広がれ「ふくし」の輪～

さやまプロジェクト4 打ち合わせ1回

テーマ：福祉圏域における地域福祉のプラットフォームづくりを進めよう

～「ふくし」で地域づくり～

(6) 狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画に基づき、計画的な推進を図りました。

【主な対応】

- ・部門間連携会議の設置
- ・BCP（事業継続計画）に関する研修の受講

(7) 成年後見制度利用促進に関する中核機関の運営

成年後見制度の利用促進に関する中核機関として「さやま成年後見センター」を位置づけ、①普及啓発、②相談、③後見人支援を行い、判断能力の有無に関わらない地域づくりを推進しました。

○ 支援者向け研修会

- ・第1回（6月6日） 参加者 15名
「あんしんサポートねっとと成年後見制度」
- ・第2回（11月30日） 参加者 16名
「ひとり終活への備え 死後事務委任契約」
- ・第3回（3月29日） 参加者 10名
「福祉関係者のための成年後見制度の基礎知識」

○ 普及啓発

- ・成年後見制度利用ガイドの増刷・配付（2,000部の増刷）
- ・私の老後の生き方・暮らし方ノートの増刷・配付（250部の増刷）
- ・出前講座 3回44名
- ・成年後見制度講演会（5月16日） 参加者 51名
「親なきあとと成年後見制度」

○ 相談支援

- ・相談支援 304件（会議を含む）
- ・本人情報シート作成支援 1件
- ・申立支援 23件
- ・権利擁護法律相談 12回開催（延べ33件）

《相談実績》

| 相談事項 | 取扱件数 |
|----------|------|
| 成年後見制度 | 5件 |
| 遺言・相続 | 4件 |
| 財産保全 | 1件 |
| 金銭トラブル | 4件 |
| 消費契約トラブル | 2件 |
| その他 | 17件 |
| 合計 | 33件 |

- 後見人支援 9件
 - ・「後見、狭山の会」共催 6回延べ107名の参加
 - ・さやま親族後見の会（1月31日）参加者 26名
「成年後見制度の現状と課題、今後の展望」

- 成年後見制度利用促進協議会
 - ・県協議会 1回参加
 - ・地区協議会 1回参加

- 市民後見人養成講座の開催
市民後見人・親族向け成年後見人養成講座として地域で活躍する人材を育成する講座を開催しました。
《開催日》7月2日（土）～9月3日（土）の全5日間（全28時間）
《受講者》市民後見人養成講座 9名
親族向け成年後見人養成講座 1名
《修了者》市民後見人養成講座 9名
親族向け成年後見人養成講座 1名

- (8) 社協活動の理解の促進及び機能強化
 - 社協活動の理解の促進
ユニフォームやジャンパー、ポロシャツを作成しました。
社協ホームページ、公式Facebook ページを随時更新し、情報発信に努めました。
YouTube「狭山市社会福祉協議会チャンネル」を活用し、さやまケーブルテレビ作成の広報番組「ふれあいこころちゃん」を配信するほか、講演会、地域福祉フォーラムなどの映像も公開しました。

○ 登録者への自動メール配信及びLINE活用による情報発信

メールアドレス登録者に対し、イベント周知やボランティア募集など、多様な情報を自動メール配信にてタイムリーに届けました。LINE活用による情報発信は検討をしましたが、実現できませんでした。

- ・メール配信件数 延べ892件（配信回数 6回）

○ 災害時の対策の充実

災害時の施設機能の強化を目的として、災害用トイレを購入し、6か所の管理施設に設置しました。

2. 会の運営

(1) 理事会 4回開催

第1回理事会 6月8日

議案第 1号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第3次補正予算（案）
について

議案第 2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正
について

議案第 3号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第 4号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第 5号 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について

議案第 6号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員候補者（案）について

議案第 7号 令和4年度定時評議員会の開催について

議案第 8号 水富地域包括支援センター受託の応募について

第2回理事会 10月27日

議案第 9号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について

議案第10号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

議案第11号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会車両運行管理規程（案）について

第3回理事会 12月19日

議案第12号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算（案）
について

議案第13号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施
規程（案）について

議案第14号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰対象者（案）に
ついて

議案第15号 第2回評議員会の開催について

第4回理事会 3月17日

議案第16号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算（案）
について

議案第17号 役員等賠償責任保険の契約について

議案第18号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

議案第19号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契
約職員規程の一部改正について

議案第20号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）に
ついて

議案第21号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）について

議案第22号 令和4年度第3回評議員会について

(2) 監査会 2回開催

第1回監査会 5月31日

議案 令和3年度会計決算監査について

第2回監査会 11月16日

議案 令和4年度中間監査について

(3) 評議員会 3回開催

定時評議員会 6月28日

議案第1号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第3次補正予算（案）
について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第3号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

第2回評議員会（書面による決議）

議案第4号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算（案）
について

第3回評議員会 3月28日

議案第 5号 令和4年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)
について

議案第 6号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)に
ついて

議案第 7号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)について

(4) 正副支部長会議 3回開催

第1回支部長会議 7月12日

1. 令和4年度支部活動費及び在宅福祉サービス定額交付金について
2. 在宅福祉サービスに対する保険について
3. 支部社会福祉協議会の令和4年度活動について

第2回支部長会議 12月6日

1. 第43回社会福祉大会について
2. 在宅福祉サービス事業交付金について
3. 支部社会福祉協議会の活動について

第3回支部長会議 3月29日

1. 令和5年度事業計画について
2. 令和5年度支部活動費(見込み)について
3. ボランティア活動保険等について
4. 令和5年度支部総会について
5. 支部社会福祉協議会の活動(令和4年度振り返り、令和5年度予定)について

3. 委員会の運営

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 評議員選任・解任委員会 | 1回開催 |
| (2) 助成金交付事業審査委員会 | 1回開催 |
| (3) 手話通訳者派遣事業運営委員会 | 2回開催 |
| (4) ボランティアセンター運営委員会 | 2回開催 |
| (5) ささえあい狭山運営委員会 | 4回開催 |
| (6) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催 |

4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 8,086件 5,694,500円
○既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集

- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 270件 502,000円
※ 令和2年度より活動状況に応じ、提供会員へは年会費の半額を返金しています。

- (3) 社会福祉活動基金・経営安定化基金の運用
国債等で運用を図りました。
受取利息配当金収入 2,800,000円

- (4) 赤い羽根共同募金 6,603,939円
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

- (5) 地域歳末たすけあい募金 4,587,655円
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

- (6) 社協だより「ふれあい」等へ広告掲載
有料広告の掲載 0件
ホームページバナー広告（4～3月分） 4件

- (7) 寄付金
寄付金収入 2,217,380円

5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

- (1) 研修 119回
埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。
 - 参加した主な研修
市町村社協地域福祉推進担当課長会議、会計研修、スーパービジョン研修、BCP（事業継続計画）の作成のコツを学ぶ研修 等

(2) 内部研修 3回 計80名参加

(3) 事務局機能の強化

新型コロナウイルス感染症への対策として、在宅勤務の実施やリモートワークのためのシステム利用など柔軟な対応を行いました。

また、勤怠実績の把握をより効率的にできるよう、勤怠管理システムとスケジュール管理システムの連携を行いました。

(4) 人事考課の実施 2回実施

(5) 職員の自己申告制度の実施 1回実施

(6) 事務事業評価の活用

地域福祉活動スタートアップ助成事業や、ふれあいサロンの支援、みんなの農園のあり方について検討しました。

6. 調査研究

(1) 遺贈寄付に係る調査研究

地域で暮らした人が、最後に地域のためにお金を使う、人生最後の社会貢献である遺贈寄付についての相談を受けられる体制を整えました。

・相談 1件

7. 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

(1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・市役所職員との連携

会員会費、共同募金(赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金)の協力を依頼し、実施しました。

また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行いました。

(2) 狭山市自立支援協議会への参加

狭山市自立支援協議会の実務者会議に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。

(3) 入間川・入間川東地区、入曽地区、水野地区、富士見・中央地区、狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原・水富地区の地域包括支援センターが主催する日常生活圏域会議に参加しました。

(4) 協働推進委員会、青少年を育てる市民会議、障害者福祉プラン懇談会、障害者差別解消支援地域協議会、子育て支援ネットワーク会議など狭山市の主催する会議に参加しました。

(5) 社会福祉法人との連絡・調整・連携

フードバンクさやまからの依頼により、社会福祉法人の地域公益活動として、フードドライブ活動への協力についての意向を打診しました。

・「話を聞きたい」と回答があった法人 8法人

8. 普及宣伝

(1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず

(2) 社協だより「ふれあい」の発行

年4回(4月・7月・10月・1月)発行 各回55,900部

(3) 諸事業の広報用印刷物発行

(4) ホームページの更新 67回(アクセス数 83,617件)

(5) ガイドブック 1,000部作成

(6) YouTubeの更新 6回(チャンネル登録数 225名)

総再生回数 29,003回

(7) フェイスブックの更新 85回(ページフォロワー数 723件)

9. 支部社協への支援

(1) 支部長会議を通して市社協と支部社協の連携

(2) 支部社協の諸事業に協力・援助(活動費交付等)

(3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助

(4) 支部活動に関連する情報提供

(5) 生活支援体制整備事業等を通じたコミュニティづくり推進のための連携

10. 在宅福祉サービスの推進

(1) 市社協における推進

○ 在宅福祉サービス推進委員会 委員会を見直し中のため、開催せず

○ 研修会(衛生講習会) 新型コロナウイルス感染症の影響で開催せず

今後、支部社協やサロン等の活動状況を確認して開催を検討

(2) 支部社協における推進

- 支部在宅福祉サービス推進委員会
- 孤立予防・安否確認のための友愛訪問の実施、支部だよりの発行

(3) 見守り事業

- ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 13名

11. 福祉教育

(1) 福祉体験教室の実施

車椅子体験、視覚障がい者体験、高齢者擬似体験、福祉図書の貸出、障がい者の当事者講話、小学生向けのキッズあいサポートを感染症対策を講じながら小学校等で実施しました。

《件数》 21件（小学校 19件、高校1件、児童館1件）

《対象者数》 1,627名

(2) 福祉教育サポーター養成講座

《日程》 6月10日～24日（全3日）

《内容》 車椅子、視覚障害者体験

《修了者数》 13名

※ 講座修了者を対象に7月と9月に「福祉教育勉強会」を実施しました。

12. 高齢者福祉

(1) 福祉機器の貸出

介護保険認定者以外で、福祉機器等（車椅子、歩行器、シャワーチェア等）の必要な方へ原則3か月を期限に貸出しを行いました。

・車椅子 57件

・その他 21件

(2) 介護用おむつ類の受け入れと活用

家庭で不要となった未開封の介護用の紙おむつやリハビリパンツ、尿取りパッド等を受入れ、本会会員で必要としている方への支援として活用しました。

・支給件数 111件

13. 障害者福祉

- (1) 障害者団体等への協力援助 7件 642,981円
障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

- (2) 助成金交付事業審査委員会 1回
6月24日 1. 令和4年度さやま福祉活動応援助成金の審査について
(申請 8団体)

- (3) 手話通訳者派遣事業（市からの受託事業）
社会参加の促進を図るため、聴覚障害者の方を対象に手話通訳者を派遣しました。
《派遣件数》 647件
《派遣人数》 740名

- 手話通訳者派遣事業運営委員会（2回）
7月14日 1. 令和3年度狭山市手話通訳者派遣事業報告について
2月24日 1. 副委員長の選出
2. 令和5年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について

- 登録手話通訳者研修会
《回数》 3回
《参加者》 延べ17名

- 手話通訳者派遣事務所だより『手輪』
年4回（6月・9月・12月・1月）発行 延べ4,209部

- 頸肩腕症候群健診の受診
《回数》 1回
《参加者》 7名

- 聴覚障害者の集い（独自事業）
新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

- (4) ハンディキャブの貸出・運行
障がいにより外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

- ハンディキャブの貸出・運行（市からの受託事業） ※貸出事業は休止中
車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを運行しました。
運行：《利用者数》 26名
《利用件数》 延べ724件

- その他、独自事業 福祉車両（ノア）の貸出
車椅子を利用している方を対象に福祉車両（ノア）を貸出しました。
《利用件数》 延べ44件

(5) 居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）

- 居宅介護 《利用件数》 延べ 2,486件
《利用時間》 2,411時間
- 移動支援 《利用件数》 延べ 140件
《利用時間》 262時間
- 同行援護 《利用件数》 延べ 279件
《利用時間》 650時間
- 通院介助 《利用件数》 延べ 33件
《利用時間》 131時間

1.4. 児童福祉・子育て支援

(1) ふれあい里親運動

県内の児童福祉施設で生活する児童を、家庭に招き交流や生活経験の機会を提供しました。

- 夏期里親運動 里親家庭の事情により中止
- 正月里親運動 1世帯参加

(2) ファミリー・サポート・センターの運営（市からの受託事業）

子育てをお手伝いしてほしい方（預ける会員）と子育てをお手伝いできる方（預かる会員）が相互に会員になり、子育てを支援する環境の整備をしました。

○ 会員同士の需給調整等

《会員数》 981名
（預ける会員 755名 預かる会員 172名 両方会員 54名）
《活動回数》 2,670回
《活動時間》 3,112時間
《病児・病後児預かり登録》 72名
《病児・病後児預かり活動回数》 休止
《病児・病後児預かり活動時間》 休止

※病児・病後児預かりについては、新型コロナウイルス感染症防止対策のため活動を休止し、新規登録のみ実施しました。

- サブリーダー会議 8回
- 入会登録会 新型コロナウイルス感染症防止対策のため説明会を中止し、出張型の登録会に変えて実施しました。
 - 《開催回数》 22回
 - 《参加者数》 延べ62名
- 研修会 《講座数》 18講座（オンライン講座を含む）
 - 《参加者数》 延べ187名
- 交流会
 - ① 全体交流会 新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止
 - ② 預かる会員連絡会（ふぁみカフェ）
 - 《内容》
 - 第1回「お寺でゆるっと座禅会」 会場：安穩寺、参加者22名
 - 第2回「バスボム作りとフリートーク」会場：大会議室、参加者22名
 - 第3回「身近なもので手作りおもちゃ」会場：大会議室、参加者21名
- ふぁみさぼだよりの発行
 - 年3回（4月・9月・12月）発行 延べ2,883部
- (3) 産前・産後ヘルパー派遣事業（市からの受託事業）

妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。

 - 需給調整等
 - 《利用者》 延べ27名
 - 《派遣回数》 92回
 - 《派遣時間》 210.0時間
 - 産前・産後ヘルパー研修会 《回数》 1回 《参加者》 8名
 - マタニティスクール参加 7名
- (4) 狭山市養育支援訪問事業（市からの受託事業）

保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

 - 《利用件数》 48件
 - 《利用時間》 81時間

(5) 子ども食堂への支援

地域での子育てを推進するため、子ども食堂を実施する団体への支援や、子ども食堂の普及啓発を行いました。

- 子ども食堂への助成 5団体 450,000円
- 子ども食堂マップの作成、配布 1,000部
- 子ども食堂のネットワークとの連携
- 子ども食堂に関する運営相談
- 子ども食堂への寄付として受領した金品の分配(随時)

15. 介護保険事業

(1) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

- 要介護
 - 《利用件数》 延べ 2,604件
 - 《利用時間》 2,530時間
- 予防介護 実績なし

(2) 狭山台地域包括支援センターの運営(市からの受託事業)

《相談件数》

| | |
|-------|--------|
| 電話 | 2,348件 |
| 来所 | 394件 |
| 訪問 | 703件 |
| 時間外電話 | 18件 |
| 時間外訪問 | 10件 |

《介護予防ケアプラン件数》

| | |
|----|------|
| 直営 | 748件 |
| 委託 | 334件 |

《自立支援地域ケア会議》 12回

《自立支援評価会議》 12回

《日常生活圏域会議》 6回

| | | |
|-------|----------|-----|
| 《その他》 | 出前講座 | 39回 |
| | ミニ講座 | 20回 |
| | ファイブコグ検査 | 1回 |
| | ボランティア育成 | 20回 |
| | 地域住民団体交流 | 16件 |
| | ケアマネ相談 | 72回 |

16. 地域歳末たすけあい募金配分金事業

(1) 生活困窮者緊急用生活費給付事業

生活困窮者自立支援事業の相談者の中で、既存の制度の狭間にある課題のため、生活困窮状態からの脱却を目指していても、生活再建の道筋を立てられない方に対して、緊急用の生活費を給付することで、生活再建の道筋を立てる一助としました。

《期 間》 10月～3月

《給付件数》 29件

(2) 高校進学支援金給付事業

市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある生徒のうち、学校長からの推薦を得られる生徒に対して、給付型の奨学金を交付しました。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況を考慮し、寄付金を財源に加えることで1件あたりの給付金額を増額しました。

《学 校 数》 8校

《給付人数》 21名

《給付金額》 1,050,000円

(3) フードバンク等支援事業【再掲】

新型コロナウイルス感染症の影響で生活困窮状態となった世帯を支援するフードバンクやフードパントリーが7月から2月までに行う活動に対する支援を行いました。

《助成団体》 5団体

《助成金額》 710,000円

17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護を行いました。

交通費の援助 8件 4,000円

18. 災害援護

災害にあった世帯への見舞金の支給を行いました。

見舞金の支給 3件 50,000円

19. 援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

- (1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず
- (2) 相談件数 43件
- (3) 貸付件数 39件 710,000円

20. 生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

- (1) 相談件数 54件
- (2) 貸付件数 49件 245,000円

21. 生活福祉資金の貸付取扱い（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

- (1) 相談件数 1,125件
- (2) 貸付決定件数 372件 130,150,000円

【貸付決定件数の内訳】

- ・緊急小口資金 6件
- ・福祉資金 0件
- ・教育支援資金 0件
- ・特例緊急小口資金 185件
- ・特例総合支援資金 181件

2.2. 心配ごとと法律相談

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

(1) 開設日

法律相談（月 1 回） 毎月第 3 金曜日

(2) 相談員

弁護士 1 名

(3) 相談実績

| 相談事項 | 取扱件数 |
|-------|-------|
| 家族 | 3 件 |
| 財産 | 2 2 件 |
| 住宅 | 7 件 |
| 人権・法律 | 3 件 |
| 苦情 | 2 件 |
| 離婚 | 2 件 |
| その他 | 0 件 |
| 合 計 | 3 9 件 |

2.3. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

《契約件数》 3 1 件（新規 9 件、解約 7 件）

《生活支援員活動回数》 4 9 5 回

《相談件数》 7 8 9 件

《生活支援員等への研修》 2 回 延べ 1 5 名

24. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発や法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談、成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

（1）受任件数・活動回数

| | |
|-------------|--|
| 《受任件数》 | 6件（後見類型5件、保佐類型1件、補助類型0件） （累計受任件数 21件） |
| 《後見支援員活動回数》 | 98回 |

（2）さやま成年後見センター運営委員会（4回）

| | |
|--------|--|
| 7月 5日 | 1. 委員長・副委員長の選任について 2. 成年後見の申立てについて【 類型変更 】 |
| 9月16日 | 1. 成年後見の申立てについて |
| 12月14日 | （報告事項のみ） |
| 2月16日 | 1. 令和5年度事業計画（案）について |

（3）後見支援員への研修 2回 延べ 16名

25. 生活困窮者自立支援事業等の生活困難者への総合相談

生活困難者への総合相談として、生活困窮者自立支援事業を中心に、特に経済的に困窮されている方への相談を受け付け、自立更生のための支援を行いました。

（1）生活困窮者自立支援事業（市からの受託事業）

① 相談件数

| | |
|-----------|---------------------|
| 《新規相談》 | 506件（累計相談件数 4,022件） |
| 《プラン作成》 | 115件 |
| 《住居確保給付金》 | 127件 |
| 《自立・就労件数》 | 113件 |

② 支援調整会議

| | |
|--------|------|
| 《開催回数》 | 12回 |
| 《調整件数》 | 107件 |

③ 職員研修、職員ミーティング

| | |
|------------|----------------|
| 《職員ミーティング》 | 12回 |
| 《ケース会議》 | 毎朝のミーティングの中で対応 |

(2) 無料職業紹介所の運営

《登録求職数》 6件

《登録求人数》 6件

《紹介件数》 6件

(3) 彩の国あんしんセーフティネット事業、衣類バンク事業への協力

・彩の国あんしんセーフティネット事業

《相談件数》 32件

《支援回数》 65回

・衣類バンク事業の利用 0回

・連絡会議 0回開催

(4) 生活支援物資の受け入れと活用

《寄付受入件数》 172件

《支援件数》 381件

(5) フードバンクとの連携

フードバンクネット西埼玉、フードバンクさやまと連携をし、生活困難者への一時的な食糧支援を実施しました。

《活用件数》 36件

(6) フードパントリーとの連携

フードバンクやフードパントリーを実施する団体との情報交換会を実施しました。

《開催回数》 1回（10月14日）

(7) 連絡手段の多様化

専用メールアドレスとLINEアカウントを取得し、電話や来所が難しい相談者に対して、対応できる手段の多様化を図りました。

26. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 43団体 (新規団体 3団体)

(2) 登録研修会 3回

(3) 運営費助成 39団体 650,903円

※4半期ごとの交付及び特別助成

(4) ふれあいサロン保険助成 110団体 延べ15,418名分

(5) サロン再開応援パックの配付

新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた団体が再開するにあたり、ハンドソープ、使い捨て手袋、アルコール消毒液など感染症予防対策として使用していただくために購入し、再開した団体へ随時配付しました。

27. コミュニティサロン協議会の運営

狭山市内の多機能サロン、コミュニティカフェ等のネットワーク管理と協議会の運営を行いました。

(1) 登録団体 59団体

(2) スタッフ会議

《日 程》 4月9日(土)

《会 場》 オンライン(ZOOM)

《内 容》 令和4年度定例会について

コロナ禍のサロン活動の現状について

《参加者》 5名

28. 地域福祉活動団体への支援

(1) 地域福祉活動スタートアップ助成事業

新たに設立された地域福祉活動団体への立ち上げ時の設備費用・運営費等や既存の団体が新たな活動を始める際の設備費用の助成を行いました。

《助成団体》 5団体

《助成金額》 778,800円

(2) 第15回全国校区・小地域福祉活動サミット（狭山会場）の設置

地域福祉活動団体のリーダーに対する研修支援として、「第15回全国校区・小地域福祉活動サミット」（オンライン）のサテライト会場を設置しました。

《日 程》 12月11日（日）

《会 場》 社会福社会館 大会議室

《参加者》 17名

29. 人材育成

(1) 手話講習会（市からの受託事業）

手話奉仕員養成講習会 全40回、手話通訳者養成講習会（通訳Ⅱ） 全30回、
手話通訳者養成講習会（通訳Ⅲ） 全10回を実施しました。

《開催日》 4月～3月

《会 場》 社会福社会館

《参加者》 手話奉仕員養成講習会 10名

手話通訳者養成講習会（通訳Ⅱ） 6名

手話通訳者養成講習会（通訳Ⅲ） 5名

(2) あいさポーター養成講座（市からの受託事業）

地域共生社会の実現を目的として、障害や障害者への理解を促進するための講座、講師の養成、企業・団体等の認定を行いました。

あいさポーター研修

《開催回数》 16回

《新規さポーター数》 156名

メッセージ研修

《開催回数》 1回

《新規メッセージ》 8名

キッズあいさポーター研修

《開催回数》 4回

《キッズさポーター数》 255名

あいサポート企業・団体の認定 1件

(3) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

西武文理大学看護学部 16名（2日間）

狭山市役所経由の実習生 1名（2日間）

明治学院大学 1名 (25日間)
西武文理大学 1名 (24日間)
日本社会事業大学 1名 (24日間)
白梅学園大学 1名 (8日間)
NHK学園 1名 (24日間)
日本福祉教育専門学校 1名 (24日間)
東京家政大学看護学部 12名 (2日間)

(4) 傾聴ボランティア養成講座

要支援者の話を聴き、心に寄り添った支援を実践するため、地域住民を対象に傾聴に関する知識や、技能習得を学ぶ講座を実施し、積極的に傾聴に係るボランティアの養成を図りました。

・第1回

《開催日》 5月14日～6月4日 (計4日間)

《参加者》 14名

・第2回

《開催日》 11月5日～11月26日 (計4日間)

《参加者》 12名

30. 福祉出前講座

地域福祉活動についての浸透を図るため、市民からの要望に応え、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

《講座内容等》 「成年後見制度」・「生活福祉資金」・「生活困窮者自立支援事業」

「ファミサポ・ささえあい・あいサポート講座」・「手話講座」

「ボランティア活動について」・「社会福祉協議会の概要」

「コミュニティコーピング体験会」等

《回数》 18回

《参加者》 延べ277名

3 1. 老人福祉センターの指定管理

(1) 老人福祉センターの運営・管理（市からの受託事業）

《利用状況》

| 施設 | 開所日数 | 利用件数 | 利用者数 |
|-----|-------|----------------------------------|----------|
| 宝 荘 | 306 日 | 6,715 件（団体 558 件、個人 6,157 件） | 9,882 名 |
| 寿 荘 | 306 日 | 6,461 件（団体 402 件、個人 6,059 件） | 8,683 名 |
| 不老荘 | 305 日 | 9,039 件（団体 392 件、個人 8,647 件） | 11,722 名 |
| 合 計 | 917 日 | 22,215 件（団体 1,352 件、個人 20,863 件） | 30,287 名 |

※ 入浴を 4 月 19 日より再開し、利用時間や利用人数に制限を設けて感染予防対策としました。

(2) 老人福祉センター自主事業

福祉・健康・教養・介護予防・仲間づくり講座、グラウンド・ゴルフ等を開催しました。

| 施設 | 事業数 | 参加者数 |
|-----|-------|---------|
| 宝 荘 | 24 事業 | 3,829 名 |
| 寿 荘 | 13 事業 | 2,960 名 |
| 不老荘 | 12 事業 | 3,084 名 |
| 合 計 | 49 事業 | 9,873 名 |

(3) たまり場活動事業

各施設で週 1 回開催しているたまり場活動について、5 月から宝荘「サロンはなみずき」、9 月から寿荘「笑みーる」、11 月から不老荘「ほのぼの空間」を再開しました。

| 施設 | 回数 | 参加者数 |
|-----|------|-------|
| 宝 荘 | 44 回 | 450 名 |
| 寿 荘 | 5 回 | 35 名 |
| 不老荘 | 5 回 | 5 名 |
| 合 計 | 54 回 | 490 名 |

(4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

| 施設 | 回数 | 相談件数 |
|-----|------|--------|
| 宝 荘 | 50回 | 634件 |
| 寿 荘 | 51回 | 1,535件 |
| 不老荘 | 51回 | 1,475件 |
| 合 計 | 152回 | 3,644件 |

(5) 福祉何でも相談事業

C S W (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー) による福祉何でも相談を行いました。

| 施設 | 回数 | 相談件数 |
|-----|-----|------|
| 宝 荘 | 12回 | 10件 |
| 寿 荘 | 11回 | 5件 |
| 不老荘 | 12回 | 12件 |
| 合 計 | 35回 | 27件 |

3 2. 社会福社会館の指定管理

(1) 社会福社会館の運営・管理 (市からの受託事業)

《開所日数》 330日

《利用回数》 1,812回

《利用者数》 17,289名

3 3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 2回

- 6月22日
1. 令和3年度ボランティアセンター事業報告について
 2. 令和4年度ボランティアセンター事業計画について
 3. ボランティアセンター登録グループへの助成について
- 3月29日
1. 令和4年度事業経過報告について
 2. 令和5年度事業計画について
 3. 令和5年度のボランティア活動について

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 4月16日(土)

《会場》 市民会館 第6会議室

《内容》 1. 令和3年度ボランティアセンター事業報告について
2. 令和4年度ボランティアセンター事業計画について
3. ボランティアセンター登録グループ助成金申請について
4. 令和4年度のボランティア活動について(情報交換)

《参加者》 21団体

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 4グループ 290,000円

(4) ボランティア活動の需給調整

| 区分 | 件数 | 回数 | 人数 |
|-----------|------|------|------|
| 高齢者関係 | 58件 | 77回 | 133名 |
| 障がい(児)者関係 | 63件 | 216回 | 243名 |
| その他 | 110件 | 172回 | 259名 |
| 合計 | 231件 | 465回 | 635名 |

○登録団体 18団体(新規登録0団体)

○登録個人ボランティア 419名

○新規登録ボランティア(個人) 49名

(5) 関係機関との連携

関係機関(ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・保健所等)との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

① あなたにもきっと見つかるボランティア講座

・前期

《開催日》 5月27日、6月1日～14日(体験)、6月15日

《会場》 社会福祉会館ほか

《内容》 基礎講座、マッチング

ボランティア体験

振り返り、活動者講話

《参加者》 6名

・後期

《開催日》 11月1日、11月5日～21日（体験）、11月22日

《会場》 社会福祉会館ほか

《内容》 基礎講座、マッチング
ボランティア体験
振り返り、活動者講話

《参加者》 5名

② 災害ボランティア養成講座

《開催日》 1回目 7月 7日

2回目 8月27日

《会場》 社会福祉会館

《内容》 「風水害24」

大規模風水害の接近から直撃・通過までを24時間として様々な立場でシミュレーションする

《参加者》 延べ38名

③ 専門講座

猫の終生預かりボランティア養成講座

《開催日》 5月・8月・11月・2月（各2回）

《会場》 社会福祉会館

《内容》 猫の殺処分ゼロを目指すと共に、動物と暮らすことにより高齢者が安らぎを得ることを目的に、猫の預かりに役立つ知識を学ぶ。

《参加者》 延べ50名

④ 地域共生のための仲間づくり講座

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

⑤ 世代間交流事業

イベントを取り入れながら世代を超えて「ふくし」を楽しく学べる場として、世代間交流事業を8月・12月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

(7) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

《開催日》 11月20日(日)

《会場》 市民交流センター

《参加者》 28名

(8) 彩の国ボランティア体験プログラム

ボランティア活動プログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

《開催日》 7月～2月

《メニュー数》 77メニュー

《参加者》 延べ117名

(9) 地区ボランティアセンターの設置

《開催日》 4月～3月(第1水曜日)

《会場》 鶉ノ木団地集会所

《参加者》 12回延べ81名

《相談件数》 24件

(10) ボランティア保険の取扱い及び保険料の一部補助

ボランティア活動が安心してできるよう、ボランティア保険(加入・事故報告等)を取扱いました。また、登録ボランティア(個人・団体)及び支部社会福祉協議会の福祉委員に対し、保険料の一部を補助しました。

○ ボランティア保険加入取扱い件数

| | |
|-------------------|--------|
| ・ボランティア活動保険 | 2,037件 |
| ・ボランティア行事用保険 | 409件 |
| ・福祉サービス総合補償 | 10件 |
| ・送迎サービス補償 | 6件 |
| ・ふれあいサロン・社協行事傷害補償 | 409件 |

○ ボランティア保険事故取扱い件数

| | |
|-------------|----|
| ・ボランティア活動保険 | 6件 |
|-------------|----|

○ 保険料の一部補助

603件

- (11) ボランティア通信の発行
年4回（6月・9月・12月・3月）発行 各号900部
- (12) 共学支援ボランティア養成講座
《実施時期》 5月20日～7月6日（全5回）
《会場》 狭山特別支援学校会場
《申込者数》 狭山4名、入間0名、飯能0名、日高0名
《ボランティア活動保険登録者数》 4名
- (13) TUDO Iプロジェクト（ちふれASエルフェン埼玉との共催事業）
《開催日》 2月11日（土）
《実施場所》 狭山元気プラザ体育館
《参加者》 20名
《内容》 子どもたちに夢や希望を持ってもらうことを目的とした女子プロサッカー選手との交流会
- (14) 七夕まつりやらい作成
《実施日》 7月中
《実施場所》 社会福祉会館 和室等
《参加者》 ボランティア連絡会世話人会
《内容》 七夕まつりに飾るやらい作成
- (15) みちくさバザー参加
《開催日》 10月15日（土）
《実施場所》 社会福祉会館 駐車場
《参加者》 約300名
《内容》 ボランティア連絡会主催のバザーの開催準備に協力
社会福祉協議会として出店（似顔絵描き、物品販売）
- (16) 車いすメンテナンスボランティア
《開催日》 4月～3月 延11回（9月は社会福祉会館点検の為実施せず）
《実施場所》 社会福祉会館
《参加者》 延べ52名
《内容》 ボランティアによる社協備品の車いすの点検及び修理

34. 有償福祉サービスささえあい狭山

(1) ささえあい狭山運営委員会 4回

- 5月19日 1. ささえあい狭山運営委員会委員長・副委員長の互選について
2. 各部会の今後の活動について
3. ささえあい狭山 令和3年度実績報告
4. 「夏の朝市」開催について
- 8月25日 1. 下半期ささえあい狭山の予定について
2. 上半期各部会の今後の活動について
3. 社会福祉大会の実行委員について
4. 移送提供者安全講習の開催について
- 11月10日 1. 上半期実績報告について
2. 前年度会計報告について
3. 各部会からの報告
- 3月16日 1. 次年度の運営委員会事業計画について
2. 次年度の部会活動について
3. 提供会員の次年度年会費の減額（返金）について

※移送・交流促進部会は運営委員会終了後、広報部会は研修会終了後にそれぞれ開催

(2) 需給調整等

- 《 会 員 数 》 236名
(利用会員 196名、提供会員 35名、両方会員 5名)
- 《 活 動 件 数 》 4,523件
- 《 稼 動 人 数 》 577名
- 《サービス提供時間》 4,323.1時間

(3) 研修会・説明会・講座

- ・研修会 1回 5名
- ・講座 未開催

(4) ささえあいだよりの発行

年4回発行 延べ1,200部

35. 第43回社会福祉大会

狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰することを目的として開催しました。

《日 程》 2月12日（日）

《会 場》 市民会館 中ホール

《内 容》 第1部 式典

第2部 講演「ヤングケアラーと孤独支援」

NPO法人あなたのいばしょ 大空幸星 氏

《参加者数》 341名

36. 地域わくわく事業

地域が元気になるための、地域を応援する仕組みとして、自治会が行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

《助 成 数》 8地区16事業

《主な事業内容》 防災備品整備、イベント運営費など

《助 成 金 額》 1,000,000円

37. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 179,359円

自動販売機設置場所：老人福祉センター3館（宝荘・寿荘・不老荘）

サンパーク奥富、教育センター、社会福祉会館

(2) 切手及び収入印紙の販売手数料収入 243,989円

社会福祉会館における販売のほか、市役所等へ販売しました。

(3) 埼玉県収入印紙の販売手数料収入 112,982円

社会福祉会館において販売しました。

38. 災害支援

(1) 災害義援金 17,556円（埼玉県共同募金会狭山市支会に協力）

令和4年3月福島県沖地震災害義援金（中央共同募金会） 14,023円

令和4年7月15日からの大雨に係る災害義援金（宮城県共同募金会） 905円

令和4年8月3日からの大雨災害義援金（中央共同募金会） 2,517円

令和4年台風第15号災害静岡県義援金（静岡県共同募金会） 111円